

インターン研修 金融業務を実践

岐阜信金、27人参加



職員(左)から通帳作成の業務を学ぶインターンシップの大学生
＝岐阜市神田町、岐阜信用金庫本店

岐阜信用金庫は13日から5日間、岐阜、愛知県などの大学生のインターンシップを受け入れている。初日は、参加者が岐阜市神田町の本店で、通帳作成業務や

各営業店で使うハンディ端末機の操作を体験した。大学3年生27人が参加。通帳作成業務や現金自動預払機(ATM)の仕組みを学ぶほか、今年からは営業

店の職員に同行する実践的な実習も取り入れた。
午後からの実習では、参加者が3グループに分かれ、本店研修室で実際の通帳作成の業務などを体験。
愛知大経営学部3年の石原瞳さん(20)＝愛知県稲沢市

「は「金融機関がどういう仕事をしているのか学ぶことができた。ハンディ端末機の操作が複雑で緊張した」と話していた。